

## 陳 情 文 書 表

受付番号	第18号
件 名	三田市私立幼稚園振興に関する要望書
受付年月日	平成29年11月29日
陳 情 者	三田市 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 三田市私立幼稚園連合会 会長 川田 長嗣
要 旨	<p>三田市の私立幼稚園の教育振興につきまして、平素より深いご理解とご支援を賜りありがとうございます。</p> <p>今回の衆議院議員選挙では、幼児教育の無償化が大きなテーマになり世論の賛意を得ることとなりました。現在国において具体的な実施方法について議論がなされています。</p> <p>無償化の対象や範囲について若干の不安があります。例えば保育時間の異なる幼保の保育料を一律に無償化するのは少子化対策と教育施策を混同し保護者に誤ったメッセージを与えかねません。0-2歳の待機児童は依然として課題ではありますが、無償化については教育投資と教育機会均等の観点より実施して頂ければありがたくお願い申し上げます。</p> <p>三田市の私立幼稚園10園は、地域の幼児教育センターとして、すでに質の高い幼児教育と、地域の子育て家庭に対する子育て支援に努めております。その機能の一層の充実を図れるよう下記要望いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者負担軽減について 国において実施法案審議が始まります。すでに国に先んじ無償化を実施した市町もあります。教育要領と指針の一斉改訂も行われ条件も整ったと考えます。まずは3-5歳児の教育時間の保育料から無償化を実現して頂きますようお願い申し上げます。</li> <li>●教育振興助成金補助金の維持・増額について 消費税の増額、新制度等の対応に要するIT化支出等々、経済諸情勢の変化により増大する一般経費に対応し増額願います。 ・私立幼稚園教育振興助成金 1,500,000円/年</li> <li>●人材確保策について 教員の採用について大変困難な状況になっています。介護や保育以外でも広く人手不足感の強まりが報道されています。資格保持者の復帰や子育て経験者等の資格取得者などの再教育や実習指導について市との協働により支援体制を構築し、私立幼稚園の人材確保につなげたく存じます。 また三田の地域性を見越し広域での採用が可能となるよう自宅外通勤者に対する家賃補助をお願いしたく存じます。現在既に約20名の教員が自宅外勤務しています。 ・自宅外通勤者への家賃補助 80,000円/月</li> <li>●教員の処遇改善について 処遇改善加算Ⅱについて既に実施すべく進めています。しかし園の組織実態にそぐわず、対象職員と研修内容にも大きな乖離がみられます。何より教員は子育て支援研修や10年更新研修等すでに多くの研修を受けている私立幼稚園の教員の現状を考慮した要件にして頂きたいと思っております。</li> </ul>
付託委員会	福祉教育常任委員会

